

専 門 教 養
令和 3 年 7 月
60 分

受 験 教 科 等
特別支援学校中・高 保健体育

注 意

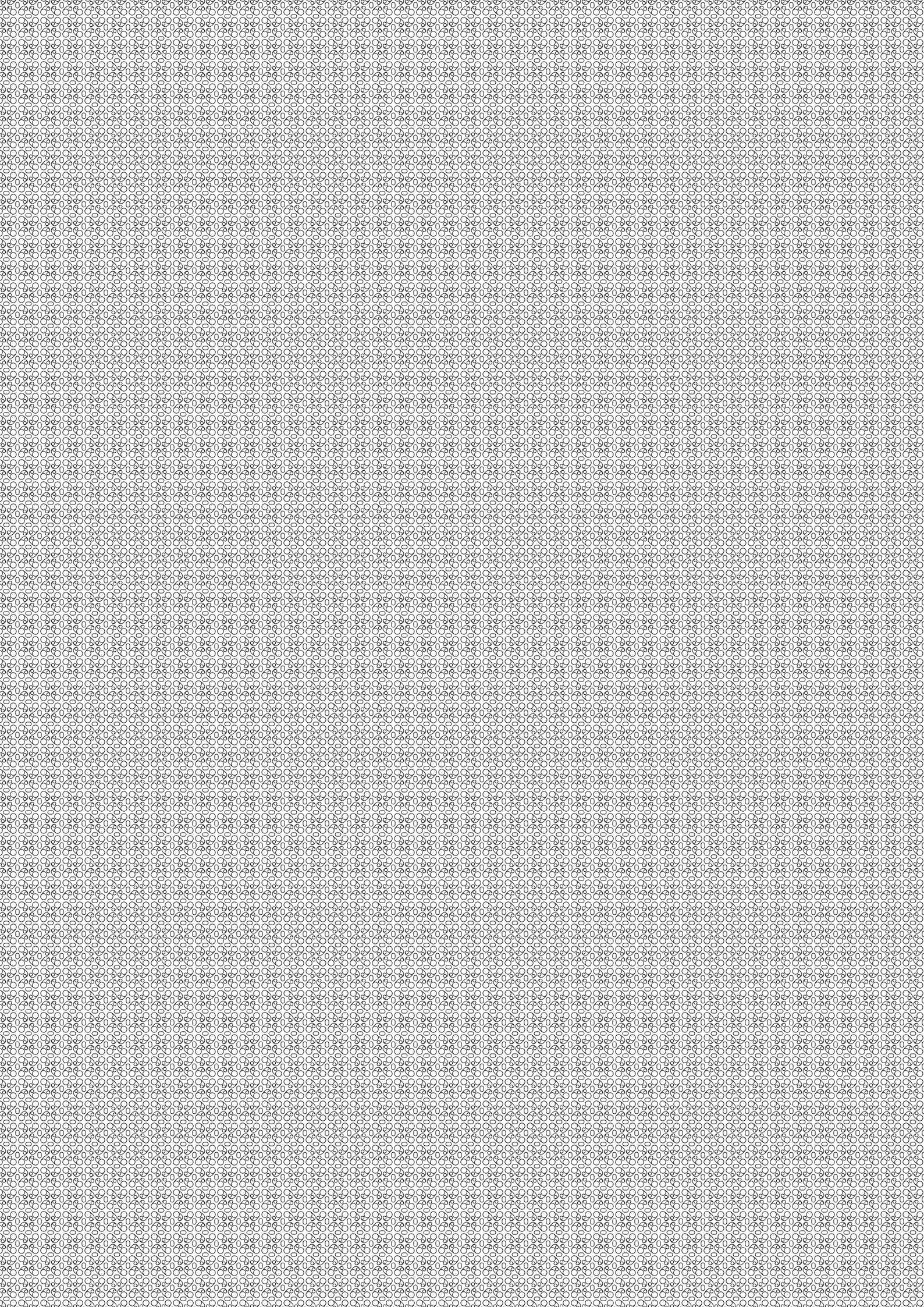
- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン等の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、20ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号を記入し、受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名を記入**してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは**不要**です。
- 8 この問題は、**教科等に関する問題** 1 ~ 4、**特別支援教育の専門に関する問題** I ~ IV の各問題から構成されています。
- 9 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 10 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 11 問題の内容についての質問には一切応じません。

解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は 1。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の(例)のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

(例)

解答 番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖



教科等に関する問題

1 体育・スポーツに関する次の各問に答えよ。

[問 1] 「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」(スポーツ庁 平成30年3月)に関する記述として適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は **1**。

- 1 部活動指導員は、指導内容の充実、生徒の安全の確保の観点から、各学校の生徒や教師の数、校務分担の実態等を踏まえて任用され、学校に配置されなければならないが、実技指導が中心で、大会・練習試合等の引率を行うことはできない。
- 2 長期休業中は、生徒が十分な休養をとることができ、運動部活動以外にも多様な活動を行うことができるので、あらためて、ある程度長期の休養期間(オフシーズン)を設ける必要はない。
- 3 校長は、生徒の1週間の総運動時間が男女ともに二極化の状況にあることから、より多くの生徒の運動機会の創出が図られるよう、レクリエーション志向ではなく、競技志向で活動を行うことができる運動部を設置する。
- 4 都道府県、学校の設置者及び校長は、学校や地域の実態に応じて、地域のスポーツ団体との連携、保護者の理解と協力、民間事業者の活用等による、学校と地域が共に子供を育てるという視点に立った、学校と地域が協働・融合した形での地域におけるスポーツ環境整備を進める。

[問 2] オリンピック・パラリンピックに関する次の記述**ア**～**エ**のうち、正しいものを選んで組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は **2**。

- ア** オリンピック聖火は、IOCの権限のもとに開催都市で採火され、オリンピック・トーチを用いて運搬される。
- イ** 国際パラリンピック委員会は、パラリンピック・ムーブメントの究極の目標として、パラスポーツを通じて障がい者にとってインクルーシブな社会を創出することを掲げている。
- ウ** アンチ・ドーピング活動は、世界アンチ・ドーピング機構が中心となって行っているため、オリンピック憲章には記載されていない。
- エ** 国際オリンピック委員会は、「スポーツ」「社会」「環境」「都市」「経済」の五つの分野をオリンピックレガシーとして掲げている。

- | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|-----|
| 1 | ア・イ | 2 | ア・ウ | 3 | ア・エ |
| 4 | イ・ウ | 5 | イ・エ | 6 | ウ・エ |

2 事故防止及び安全管理に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 熱中症に関する記述として、「熱中症環境保健マニュアル2018」（環境省 平成30年3月）に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 WBG Tが28～31℃では、嚴重警戒となるので、激しい運動や持久走は避け、体力のない者、暑さになれていない者は運動を中止する。
- 2 大量の発汗がある場合は、水だけでなく、スポーツ飲料等の塩分濃度4%程度の水分の摂取が必要である。
- 3 暑熱順化は、やや暑い環境において、軽めの運動を毎日10分程度継続することで獲得でき、運動開始日から3日程度で完成する。
- 4 暑い時は、自律神経を介して末梢血管が収縮することにより、全身に送る血液を減らし、外気への熱伝導により体温を低下させることができる。

[問 2] 水泳プールの管理に関する記述として、「学校環境衛生管理マニュアル〔平成30年度改訂版〕」（文部科学省 平成30年5月）に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 遊離残留塩素は、プール水の消毒管理の指標であり、感染症予防等プールの衛生管理において重要な意義をもっている。そのため、プール使用中1時間に1回以上測定し、細菌やウイルス等のプールで感染する可能性のある病原体に対して消毒効果を得るためには、1.2mg/L以上に保持されていなければいけない。
- 2 プール水のpH値は、3.0以上5.8以下とし、pH値が適正範囲にないとき、目に対して痛みを与える。この範囲を超えて水が酸性に傾くと消毒効果は強くなるが、コンクリートの劣化や配管の腐食、浄化能力の低下をもたらすことから、適正範囲を維持することによって、効率的な浄化、消毒を行うことができる。
- 3 大腸菌以外の一般細菌が検出された場合には、プールの使用を即座に中止し、塩素消毒を強化するが、大腸菌は検出されても使用を継続する。塩素消毒の強化後、遊離残留塩素が基準値まで下がったことが確認できたら再検査を行い、一般細菌が検出されないことを確認できた場合にプールの再開を認める。
- 4 プール水の日常点検は、プール使用前にプール水の水質が基準に適合していても、一時に多くの生徒が利用することから、プール使用日は毎時間点検を実施することが必要である。水中で3m離れた位置からプール壁面が明確に見えない場合は、見えるようになるまで、十分に循環ろ過装置を機能させるか、又は水を入れ替える。

[問 3] 心肺蘇生に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、「JRC蘇生ガイドライン2015」（一般社団法人日本蘇生協議会 平成28年5月）に照らして正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は 。

ア 救助者は、傷病者の心停止を疑ったら、気道確保や人工呼吸より先に、胸骨圧迫から CPR（心肺蘇生）を開始する。

イ 救助者が人工呼吸の訓練を受けており、それを行う技術と意思がある場合は、胸骨圧迫と人工呼吸を30：2の比で行う。

ウ 救助者は、傷病者がしゃくり上げるような不規則な呼吸をしている場合、呼吸の確認ができるまで気道の確保をし続ける。

エ 救助者は、傷病者にAEDによる電気ショックを行った後、AEDを装着している場合は、電源を切ってから胸骨圧迫を行う。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

3 「体育」に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 跳び箱運動の屈身跳びの指導に関する記述として適切なものは、次の**1**～**4**のうちどれか。解答番号は 。

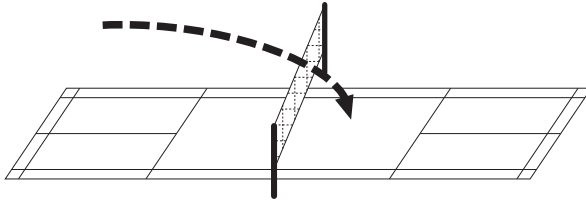
- 1 助走から両足踏み切り、着手を行い、手で突き放して膝を伸ばした姿勢で跳び箱上に前のめりにならないよう、上体を起こして足で乗るよう指導する。
- 2 最初は足や腰の位置が高くならないように注意して踏み切り、着手後に腰を伸ばして胸を張った姿勢になるような跳び方を試みるよう指導する。
- 3 積み上げたセーフティマット上に向かって助走から踏切板を踏み切って、マット上に伸腕伸身姿勢で着手し、背中から安全に倒れるよう指導する。
- 4 はね動作を早く行くと、跳び箱上に落下する危険性があるので、特に安全に注意するよう指導する。

[問 2] 陸上競技のハードル競走のルールに関する記述として、「陸上競技ルールブック2020年度版」（公益財団法人日本陸上競技連盟 令和2年4月）に照らして適切なものは、次の**1**～**4**のうちどれか。解答番号は 。

- 1 100mハードル及び110mハードルでは、どちらも11台のハードルを走り越え、タイムを競う。
- 2 ハードルを越える瞬間に、足又は脚がハードルをはみ出てバーの高さより低い位置を通ったときは失格となる。
- 3 400mハードルでは、自分に割り当てられたレーンを走らなければならないため、他の競技者の進行を妨害しなければ、いかなる場合も内側のラインを踏んでも失格とはならない。
- 4 ハードルを意図的に足で倒しても違反とはならないが、意図的に手で倒すと失格になる。

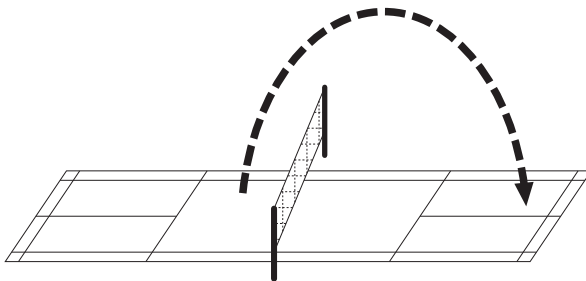
[問 3] 次の図と記述ア～ウは、バドミントンのショットに関するものである。図と記述ア～ウと、そのショットの名称A～Cとの組合せとして適切なものは、下の1～6のうちのどれか。ただし、図中の破線の矢印は、シャトルcockの軌道を表している。解答番号は 8。

ア



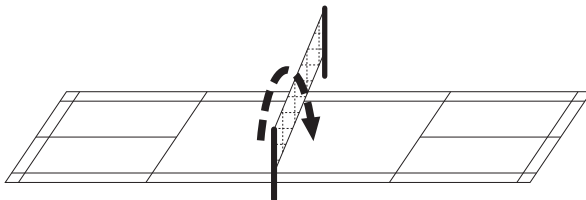
コート後方から、ネットを越えてすぐの場所に落下させるショット。

イ



コート前方から、高く弧を描くように相手の頭上を越えるショット。

ウ



ネット際から、相手コートのネットを越えてすぐの場所に落下させるショット。

A ドロップ

B ヘアピン

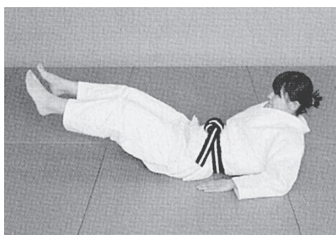
C ロブ

- | | | | |
|---|-----|-----|-----|
| 1 | ア-A | イ-B | ウ-C |
| 2 | ア-A | イ-C | ウ-B |
| 3 | ア-B | イ-A | ウ-C |
| 4 | ア-B | イ-C | ウ-A |
| 5 | ア-C | イ-A | ウ-B |
| 6 | ア-C | イ-B | ウ-A |

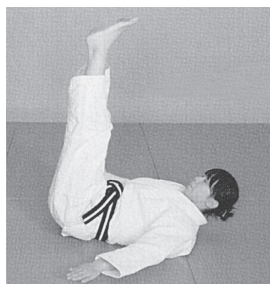
[問 4] 次の図ア～カは、柔道で受け身を行った際に畳をたたいた瞬間を示したものである。このうち後ろ受け身として正しいものをア～ウから、横受け身として正しいものをエ～カから、それぞれ選んだものの組合せとして適切なものは、下の1～9のうちのどれか。解答番号は 。

後ろ受け身

ア



イ



ウ



横受け身

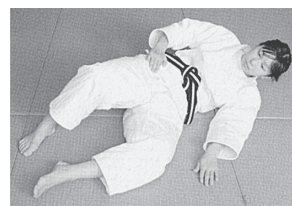
エ



オ



カ



- 1 ア・エ
- 2 ア・オ
- 3 ア・カ
- 4 イ・エ
- 5 イ・オ
- 6 イ・カ
- 7 ウ・エ
- 8 ウ・オ
- 9 ウ・カ

〔問 5〕 中学校学習指導要領保健体育の「各学年の目標及び内容」の〔体育分野 第1学年及び第2学年〕の「H 体育理論」で、第1学年において身に付けることができるよう指導する事項として示されている記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えること及び知ることなどの多様な関わり方があること。
- 2 運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められること。
- 3 運動やスポーツには、特有の技術があり、その学び方には、運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があること。
- 4 スポーツは、民族や国、人種や性、障害の違いなどを超えて人々を結び付けていること。

4 「保健」に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 我が国におけるがんに関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **11**。

- 1 がん検診の受診率は、2019年には目標とする受診率50%を達成しており、欧米の受診率と比べて高く、積極的な受診の推進の効果が出ている。
- 2 がんの主な原因は、生活習慣、体質などであり、いくつかの原因が重なり合ったときにかかる可能性が高いが、細菌やウイルス感染はない。
- 3 がん治療の三つの柱として、手術療法、放射線療法、食事療法があり、これらの治療法を全て組み合わせて行うことが、標準的な治療法として推奨されている。
- 4 緩和ケアについては、がん患者の状況に応じて、がんと診断されたときから適切に提供されるようにすることとがん対策基本法で示されている。

[問 2] 自転車の交通安全に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **12**。

- 1 自転車は、車道を通行することが原則であり、道路の左側に沿って通行しなければならないが、道路標識で示されている場合に限り、歩道を通行することができる。
- 2 自転車は、信号のない踏切を通過しようとするとき、安全が確認できれば、踏切の直前で停止せずにそのまま通過することができる。
- 3 自転車の運転者は、道路標識等で警音器を鳴らさなければならないこととされている場合を除き、いかなる場合も警音器を鳴らしてはならない。
- 4 自転車の運転者は、当該車両等のハンドル、ブレーキその他の装置を確実に操作し、他人に危害を及ぼさないような速度と方法で運転しなければならない。

[問 3] 次の記述は、ある感染症に関するものである。この感染症の名称として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

嘔吐と下痢が主症状である。ロタウイルスやノロウイルスが原因であり、感染経路は、接触感染や飛沫感染、経口感染である。ウイルスがついた水や食べ物、手を介すなどして感染するので、患者と接触した場合は手洗いを励行する。食器などは、1分以上の熱湯消毒や0.05～0.1%次亜塩素酸ナトリウムを用いて洗浄することが勧められる。食品は、85℃で1分以上の加熱が有効である。

- 1 エボラ出血熱
- 2 マイコプラズマ感染症
- 3 感染性胃腸炎
- 4 溶連菌感染症

[問 4] 環境と健康に関する記述として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 PCBやアスベストなどの有害物質を含んだ産業廃棄物や、病院から出る注射針など感染の可能性のある医療廃棄物は、廃棄物処理法で特別な処理が義務付けられており、これらの処理は各自治体が責任を負う。
- 2 環境基本法は、環境基準の設定、排出規制、環境の監視・測定など、これまでの汚染防止対策に加えて、環境基本計画の作成、環境影響評価の推進、経済的措置などの新たな汚染を防ぐための対策も定めている。
- 3 リサイクルを推進することで、資源を有効活用し、少ない環境負荷で新しい商品を作ることが可能となるため、循環型社会基本法に基づき、家電リサイクル法では、全ての電化製品においてリサイクルを義務付けている。
- 4 公害健康被害補償法に基づいた公害健康被害補償制度は、大気汚染や水質汚濁の指定地域に一定期間住んでいる人が、それが原因で病気になった場合に、療養費や障害補償費などを給付する仕組みのことであり、国が全ての財源を負担している。

[問 5] 性感染症に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 15。

- 1 エイズは、H I Vを病原体とし、近年では早期に治療を受ければ通常的生活が可能で、我が国の2019年の新規エイズ患者数は2015年と比べて約半数に減少している。
- 2 性器ヘルペスウイルス感染症は、単純ヘルペスウイルス1型又は2型を病原体とし、一度感染すると免疫ができるので、治癒後再発することはない。
- 3 性器クラミジア感染症は、クラミジア・トラコマチスを病原体とし、若年層で多く、我が国で最も多い性感染症である。
- 4 梅毒は、梅毒トレポネーマを病原体とし、感染は成人に限られているので、妊娠した場合に胎児に感染する危険性はない。

特別支援教育の専門に関する問題

I 特別支援教育に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 「特別支援教育の推進について（通知）」（文部科学省 平成19年4月1日）に関する次の記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の1～6のうちのどれか。解答番号は 。

- ア** 特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持つ力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものである。
- イ** 障害のある幼児児童生徒と障害のない幼児児童生徒との交流及び共同学習について、各学校においては、双方の幼児児童生徒の教育的ニーズに対応した内容・方法を十分検討し、早期から組織的、計画的、継続的に実施することなど、一層の効果的な実施に向けた取組を推進する。
- ウ** 特別支援学校においては、地域における特別支援教育のセンターとしての機能の充実を図り、地域の各学校等の要請に応じて、発達障害を含む障害のある幼児児童生徒のための個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成及びその内容を踏まえた幼児児童生徒への直接の指導を行う。
- エ** 各学校においては、特別支援学校での勤務経験のある者の中から校長が指名した特別支援教育コーディネーターが、全校的な支援体制を確立し、発達障害を含む障害のある幼児児童生徒の実態把握や支援方策の検討を行うための校内委員会を設置する。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

[問 2] 就学に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、学校教育法施行令に照らして、正しいものを選んで組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は 。

ア 都道府県の教育委員会は、就学予定者のうち、その者の障害の状態に照らして、区市町村の設置する小学校又は中学校において適切な教育を受けることができる特別の事情があるものと認める者について、その保護者に対し、翌学年の初めから二月前までに、小学校、中学校又は義務教育学校の入学期日を通知しなければならない。

イ 特別支援学校に在学する学齢児童又は学齢生徒でその障害の状態、その者の教育上必要な支援の内容、地域における教育の体制の整備の状況その他の事情の変化により、当該学齢児童又は学齢生徒の住所の存する区市町村の設置する小学校、中学校又は義務教育学校に就学することが適当であると思料するもの（視覚障害者でなくなった者を除く。）があるときは、当該学齢児童又は学齢生徒の在学する特別支援学校の校長は、速やかに、当該学齢児童又は学齢生徒の住所の存する都道府県の教育委員会に対し、その旨を通知しなければならない。

ウ 都道府県の教育委員会は、当該都道府県の設置する特別支援学校が2校以上ある場合においては、区域外就学等の届出の通知を受けた児童生徒等を除き、特別支援学校への就学についての通知を受けた児童生徒等を就学させるべき特別支援学校を指定しなければならない。

エ 区市町村の教育委員会は、児童生徒等のうち視覚障害者等について、小学校、中学校又は特別支援学校への就学又は転学に係る通知をしようとするときは、教育学、医学、心理学その他の障害のある児童生徒等の就学に関する専門的知識を有する者の意見を当該児童生徒等の保護者の意見に優先して聴かななければならない。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 3] 特別支援教育に関連する法令の内容に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、正しいものを選んで組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は 18。

ア 「学校教育法施行規則」では、特別支援学校の小学部又は中学部の1学級の児童又は生徒の数は、法令に特別の定めのある場合を除き、視覚障害者又は聴覚障害者である児童又は生徒に対する教育を行う学級にあつては15人以下を標準とするとされている。

イ 「障害者基本法」では、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するため、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策に関し、基本原則を定め、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策を総合的かつ計画的に推進することを目的としている。

ウ 「発達障害者支援法」では、国及び地方公共団体は、発達障害のある児童生徒が、その年齢及び能力に応じ、かつ、その特性を踏まえた十分な教育や必要な支援を受けられるようにするため、発達障害のある児童生徒のみを対象とした教育を受けられるよう特別支援学校の体制を整備するなど、必要な措置を講じるものとしている。

エ 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」では、国、都道府県、区市町村などの行政機関や、会社や店などの事業者が、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害を理由として差別することを禁止しており、ボランティア活動をするグループなども事業者として捉えている。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

Ⅱ

学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 特別支援学校高等部学習指導要領総則の「教育課程の編成」に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は 。

ア 教育課程の編成に当たっては、学校教育全体、各教科・科目等及び各教科等において、それぞれの指導を通して育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、各学校の教育目標を明確にするとともに、教育課程の編成についての基本的な方針が家庭や地域とも共有されるよう努めるものとする。

イ 各学校においては、生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科・科目等又は各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。

ウ 肢体不自由者又は病弱者である生徒に対する教育を行う特別支援学校にあっては、主として専門学科において開設される、印刷やクリーニングなどの各教科・科目及び設置者の定めるそれぞれの標準単位数を踏まえ、生徒に履修させる各教科・科目及びその単位数について適切に定めるものとする。

エ 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校にあっては、各教科等の総授業時数は、各学年とも1,015単位時間を標準とし、特に必要がある場合には、これを増加することができる。この場合、各教科等の目標及び内容を考慮し、各教科及び総合的な探究の時間の配当学年及び当該学年における授業時数、道徳科、特別活動及び自立活動の各学年における授業時数を適切に定めるものとする。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 2] 特別支援学校高等部学習指導要領総則の「教育課程の編成」の「教育課程の編成における共通的事項」の「キャリア教育及び職業教育に関して配慮すべき事項」に関する次の記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の1～6のうちどれか。解答番号は 。

ア 職業に関する各教科・科目については、就業体験活動をもって実習に替えることができること。この場合、就業体験活動は、その各教科・科目の内容に直接関係がなくても、あらかじめ計画し、評価されるものであることを要すること。

イ 普通科においては、生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等、学校や地域の実態等を考慮し、必要に応じて、適切な職業に関する各教科・科目の履修の機会の確保について配慮するものとする。

ウ 職業教育を主とする専門学科においては、生徒の実態を考慮し、職業に関する各教科・科目の履修を容易にするため特別な配慮が必要な場合には、各分野における基礎的又は中核的な科目を重点的に選択し、その内容については基礎的・基本的な事項が確実に身に付くように取り扱い、また、主として実験・実習によって指導するなどの工夫をこらすようにすること。

エ 職業に関する各教科・科目については、工業、家庭及び情報に関する各教科・科目の指導に当たっては、ホームプロジェクトなどの活動を活用して、学習の効果を上げるよう留意すること。この場合、ホームプロジェクトについては、適切な授業時数をこれに充てることができること。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

Ⅲ

次の事例を読み、下の各問に答えよ。

生徒Aは知的障害特別支援学校中学部第1学年に在籍する知的障害と自閉症のある生徒である。

生徒Aの様子

- ・ 手指の巧緻性が高く、創作活動が好きである。
- ・ ①創作活動に取り組んでいると、教員の指示があってもやめることができず、作り続けることがしばしばある。
- ・ 活動の見通しがもてないときや困ったことがあったときに、気持ちを伝えることが難しい。
- ・ 安心できる担任には、「できました」など言葉での報告ができるときがある。
- ・ ②要求がかなわないときや、嫌いな音がするなどの不快なことがあったときに、大きな声を出したり、人やものなどをたたこうとしたりするなどの行動が見られる。
- ・ 一斉指導や音声による指示は、理解できないことがしばしばある。
- ・ 周りの動きに合わせて行動しているが、1日の細かいスケジュール等を理解することは難しい。

(「知的障害特別支援学校の教育課程の充実に向けて」(東京都教育委員会 平成29年3月) から作成)

[問 1] 下線部①について、次の記述ア～エのうち、「生徒Aの様子」や障害の特性等を踏まえた支援として、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は 。

- ア** 興味や関心のある活動中に教員が「楽しいね」、「うれしいね」などと言葉をかけて、人とやり取りすることや通じ合う楽しさを感じられるようにする。
- イ** 活動に固執し切り換えるのが難しいのは、自分にとって快適な刺激を得るためなので、毅然と対応してやめさせる。
- ウ** 活動に固執してやめられないときには、「もう少し」、「そのくらい」など、意味内容に幅のある言葉で、やめるタイミングを示す。
- エ** 固執してしまう活動では、あらかじめ活動する時間を決めておき、タイマーを使って残り時間が視覚的にわかるようにする。

- | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|-----|
| 1 | ア・イ | 2 | ア・ウ | 3 | ア・エ |
| 4 | イ・ウ | 5 | イ・エ | 6 | ウ・エ |

[問 2] 下線部②について、次の記述**ア**～**エ**のうち、「生徒Aの様子」や障害の特性等を踏まえた支援として、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は 。

- ア** 嫌いな音に反応したときは、ノイズキャンセルヘッドホン等を使用して音量を調整する。
- イ** 生徒Aにとって苦手な音は、他の生徒にとっても一律に不快なので、音を除去する。
- ウ** 不快な気持ちを伝えられるように、感情を表した絵カードを使用する。
- エ** その場で初めて経験する新しい活動を用意し、取り組めるようにする。

- 1** ア・イ
- 2** ア・ウ
- 3** ア・エ
- 4** イ・ウ
- 5** イ・エ
- 6** ウ・エ

[問 3] 生徒Aに対して、指導目標を「いろいろな教員に対して作業が完了したら『できました』と伝えられるようになる。」と設定した。次の記述**ア**～**エ**のうち、この目標を達成するために「生徒Aの様子」や障害の特性等を踏まえた支援として、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は 。

- ア** 話す人の方向を見て報告することは、障害の特性上困難なので指導しない。
- イ** 日頃関わりのない多くの教員とのやり取り場面を設定する。
- ウ** 日常的に報告の場面を作ったり、自分の気持ちを言葉で表現する経験を重ねたりすることで、相談することのよさが実感できるようにする。
- エ** 人と協力して遂行するゲーム等をして、適切な関わりができるようにする。

- 1** ア・イ
- 2** ア・ウ
- 3** ア・エ
- 4** イ・ウ
- 5** イ・エ
- 6** ウ・エ

IV 障害に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 視覚障害の眼疾患の一つである網膜色素変性症に関する記述として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 視神経乳頭、視野に特徴的变化を示し、通常、眼圧を十分に下げることにより視神経障害の改善あるいは進行の阻止が可能な、眼の機能的構造的異常を特徴とする疾患である。眼球破裂の危険性があり、防御眼鏡の装着を検討することも必要である。
- 2 未熟児に生後まもなく発症する可能性のある網膜の異常であり、視力や視野は正常な人から全盲の人まで個人差がある疾患である。屈折異常の矯正、網膜剥離の予防などへの対応が必要である。
- 3 乳幼児の網膜に発生する悪性腫瘍で、腫瘍が大きくなると光で反射して瞳孔が光る疾患である。二次腫瘍発生の可能性があり、生涯にわたり経過観察が必要である。
- 4 網膜桿体の機能低下が生じた状態で、暗い所が見えにくい夜盲や周辺が見えない視野狭窄が生じていく疾患である。多くは進行性であり、そのため心理的ケアが必要である。

[問 2] 聴覚障害の起因疾患とその特徴に関する記述として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 耳硬化症は、骨の異常増殖によりツチ骨が固着することを原因とし、進行性難聴や耳鳴の症状を特徴とする両側性の疾患である。
- 2 滲出性中耳炎は、耳管機能が不良となり中耳腔に滲出液が貯留することを原因とし、軽度の難聴や低音性の耳鳴、耳閉塞感の症状を特徴とする疾患である。
- 3 メニエール病は、回転性のめまいや難聴、耳鳴の症状が反復消長することを特徴とし、一側性より両側性の症例が多い疾患である。
- 4 音響外傷は、騒音職場などで長期間就労していることを原因とし、徐々に聴力が低下していく症状を特徴とする慢性発症型の難聴である。

[問 3] 肢体不自由児の知的機能の発達の検査に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 言語障害や上肢の障害による表出手段の著しい困難などのために、妥当性の高い検査値を求めることができない場合があるので、検査目的を明確にするとともに、その結果を弾力的に解釈できるような工夫を行って実施する必要がある。
- 2 標準化された知能検査を行う場合には、時間制限があったり、運動速度を必要としたりする個別式知能検査のみではなく、子供が持っている力を十分に発揮させるために検査者との関係性を大切にしたい集団式知能検査を併用して実施する必要がある。
- 3 運動・動作の障害や言語障害などがある子供に対する配慮が十分になされていない検査があるため、知能検査を厳密に行うと目と手の協応、運動速度、言語などを必要とする検査項目の成績が高く現れることに留意して実施する必要がある。
- 4 知能検査を実施する場合には、問題内容の変更や音声出力装置などの代替表現の工夫、障害の状態や程度を考慮した検査時間の延長などを行うことで、子供に合わせて実施する必要がある。

[問 4] 知的障害の起因疾患とその特徴に関する次の記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は 。

- ア** プラダー・ウィリー症候群は、アミノ酸の代謝異常を原因とし、低緊張、過食とそれによる肥満、小さい手足などを特徴とする疾患である。
- イ** ダウン症候群は、21番染色体の過剰を原因とし、低緊張、先天性心疾患、低身長などを伴う疾患である。
- ウ** レット症候群は、女兒に多くみられ、視線回避、上肢の常同運動、小頭症などを特徴とする疾患である。
- エ** フェニルケトン尿症は、15番染色体の異常を原因とし、わずかな発語、発作的な笑い、失調性歩行などを特徴とする疾患である。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

[問 5] 「教育支援資料～障害のある子供の就学手続と早期からの一貫した支援の充実～」(文部科学省 平成25年10月)の「V 病弱・身体虚弱」に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は

28。

ア 病弱とは、病気ではないが身体が不調な状態が続く、病気にかかりやすいといった状態を表している。また、身体虚弱とは心身の病気のため弱っている状態を表している。これらの用語は、このような状態が継続して起こる、又は繰り返して起こる場合に用いられる。

イ 病弱教育では、病気の自己管理能力を育成することは重要な指導事項の一つである。そのため、病弱児にとって必要な生活規制とは、他人からの規制ではなく「生活の自己管理」と考えて取り組むことが大切である。

ウ 白血病は、血液の製造所である骨髄で異常な未熟白血球が増殖し、その浸潤により、正常造血機能の抑制を来す病気である。急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病など多くの種類があり、子供には急性リンパ性白血病が多い。

エ 気管支喘息は、気道の慢性的な炎症によって反応性が低くなり、種々の刺激により気管支平滑筋の弛緩、粘膜の腫れなどを来し、発作性に咳や喘鳴を伴う呼吸困難を繰り返す疾患である。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

